

(7) 北海道豊富高校の資料

- 豊 1 令和3年度 北海道 CLASS プロジェクト実施計画書（1年次）《第1次》
- 豊 2 令和3年度 北海道 CLASS プロジェクト実施計画書（1年次）《第2次》
- 豊 3 令和3年度 北海道 CLASS プロジェクト実施報告書（1年次）
- 豊 4 令和4年度 北海道 CLASS プロジェクト実施計画書（2年次）
- 豊 5 令和4年度 北海道 CLASS プロジェクト実施成果報告書（2年次）
- 豊 6 令和5年度 北海道 CLASS プロジェクト実施計画書（3年次）
- 豊 7 全道地学協働活動研究大会発表資料
- 豊 8 令和5年度 北海道 CLASS プロジェクト実施成果報告書（3年次）

資料 豊1

令和3年度 北海道CLASSプロジェクト実施計画書（1年次）《第1次》

学校名	北海道豊富高等学校
作成日	令和3年6月7日

1 課題把握

(1) これまでの学校と地域の関係・取組

- ・学校運営協議会における教育活動や学校課題の共有
- ・地域探究における地域の教育資源の活用

(2) 現状における課題

- ・学校運営協議会において、課題意識を共有しているものの、効果的な連携が不十分である。
- ・地域社会と連携した探究学習の取組をとおして、生徒自ら町全体の課題を意識し、その解決策を提案しているが、それが持続可能な社会の実現に向けて現実的かつ実現可能なものとなっていない。
- ・地域探究において地域の教育資源の効果的な活用が不十分である。

2 仮説検討・テーマ設定・目標設定

(1) 研究仮説

- 地域探究学習を通して、生徒自らが地域課題を見出し、課題解決のための検討をすることで、地域への愛着が深まる。
- 学校と地域で課題を共有し、解決に向け協働して取り組むことで、地域の新たな価値の創造へつながる。

(2) 研究テーマ

天地人の恩恵による地域探究
 ～豊富な天然資源、人的資源やサロベツの大地の恵みを利活用し、地域貢献型探究への飽くなきフロンティア・スピリットに挑戦する～

(3) 今年度の目標

- ・地学協働推進委員会を設置するなど、学校運営体制を整備する。
- ・各教科・科目と総合的な探究の時間での探究学習課題を整理し系統化する。
- ・地域コーディネーターを中心に、行政や企業、各種団体等と連携を図り、地域探究学習のフィールドを広げる。
- ・研究（活動）報告会を実施し、学びの成果や課題を地域全体で共有する機会を設ける。

3 研究の具体

(1) 研究内容（選択する項目を■にしてください）

- 「Collaboration」【地域・産業界等との連携・推進】
 （内容）
 ・各教科及び「総合的な探究の時間」における地域・産業界等の人材を活用した探究学習の充実

資料 豊1

- ・様々な職種、関係地域住民によるコンソーシアムの形成
- 「Literacy」 【学んだことを将来に生かす能力】
（内容）
- ・持続可能な地域づくりについて、地域と学校からの共同提言
- 「Adult」 【多くの大人が子どもと一緒にあった取組の推進】
（内容）
- ・生徒の発案による各種プロジェクトやイベントへの支援及び参画
- 「Student」 【生徒理解に基づく指導の充実】
（内容）
- ・町内の小中学校、教育委員会等と生徒指導、学校安全に関する情報交流
- 「System」 【学校と地域の連携・協働の仕組みづくり】
（内容）
- ・学校運営協議会における協議の活性化、提言等の実現に向けた取組の充実
- ・様々な職種、関係地域住民によるコンソーシアムの形成

(2) 研究成果の普及方法

- ・学校ホームページや学校だより、地域広報誌等へ取組を掲載する。
- ・地域住民、関係機関、団体等を集め、成果発表会を企画・実施する。
- ・成果発表をまとめた冊子を発行し、近隣の学校、教育委員会等へ配布する。

(3) 研究のイメージ（別添資料）

別紙「【宗谷管内】北海道CLASSプロジェクト 豊富モデル概要」参照

(4) 研究組織（別添資料）

① コンソーシアム構成図

別紙「【宗谷管内】北海道CLASSプロジェクト豊富モデルコンソーシアム」参照

② 校内体制

学校運営協議会を母体に、「CLASSプロジェクト推進委員会」でプロジェクトを運営・推進する。

職名	氏名	担当教科・分掌等
教頭	鳥毛 浩二	
教諭	増田 智之	理科・教務部長
教諭	市川 晃義	地歴公民・進路指導主事
教諭	富澤 恭	商業・生徒指導部長
教諭	佐々木加奈子	家庭・教務部
教諭	田中 豊人	保健体育・生徒指導部

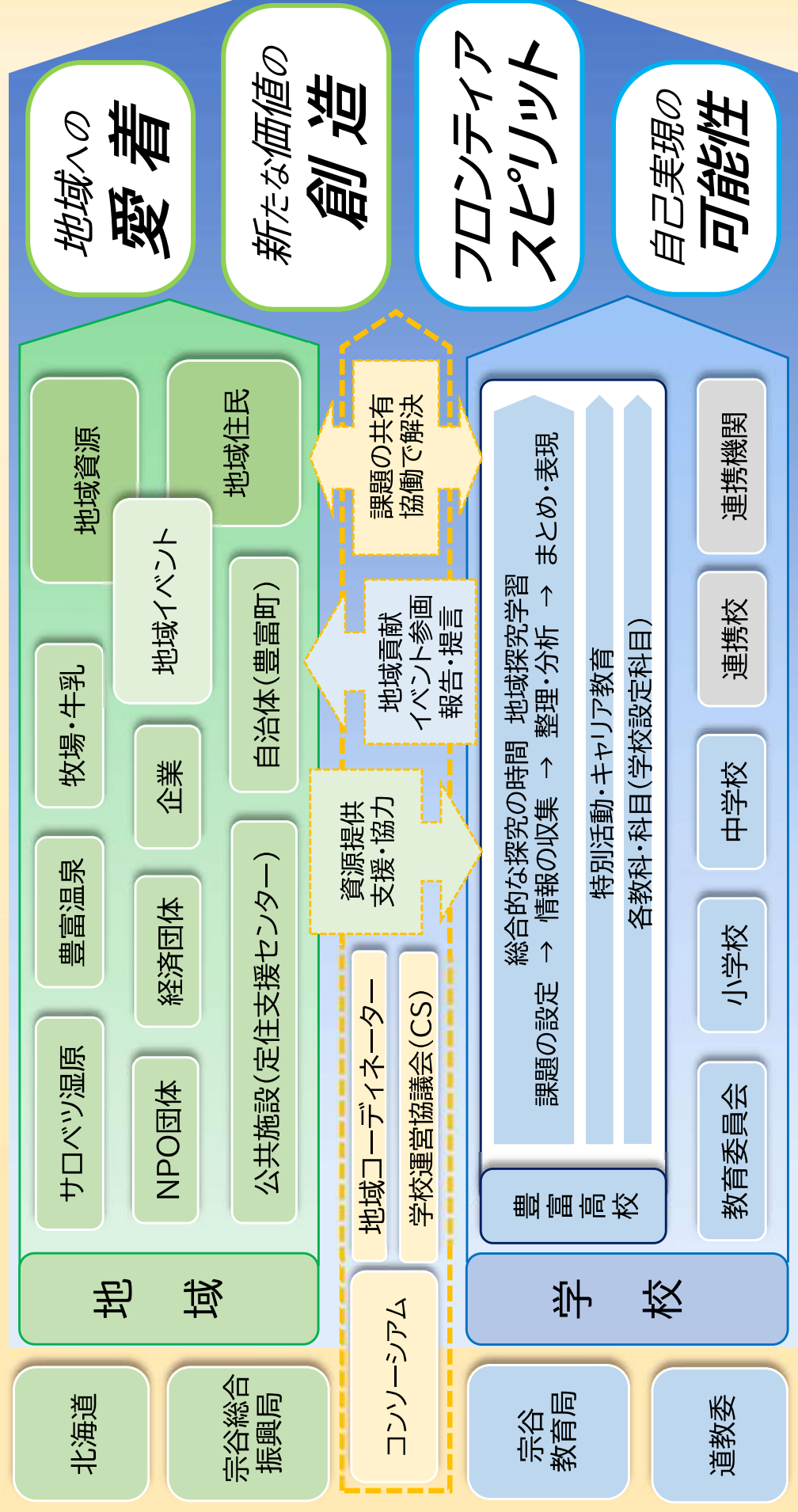
4 その他特記すべき事項

【宗谷管内】北海道CLASSプロジェクト 豊富モデル概要

【研究テーマ】「天地人の恩恵による地域探究」

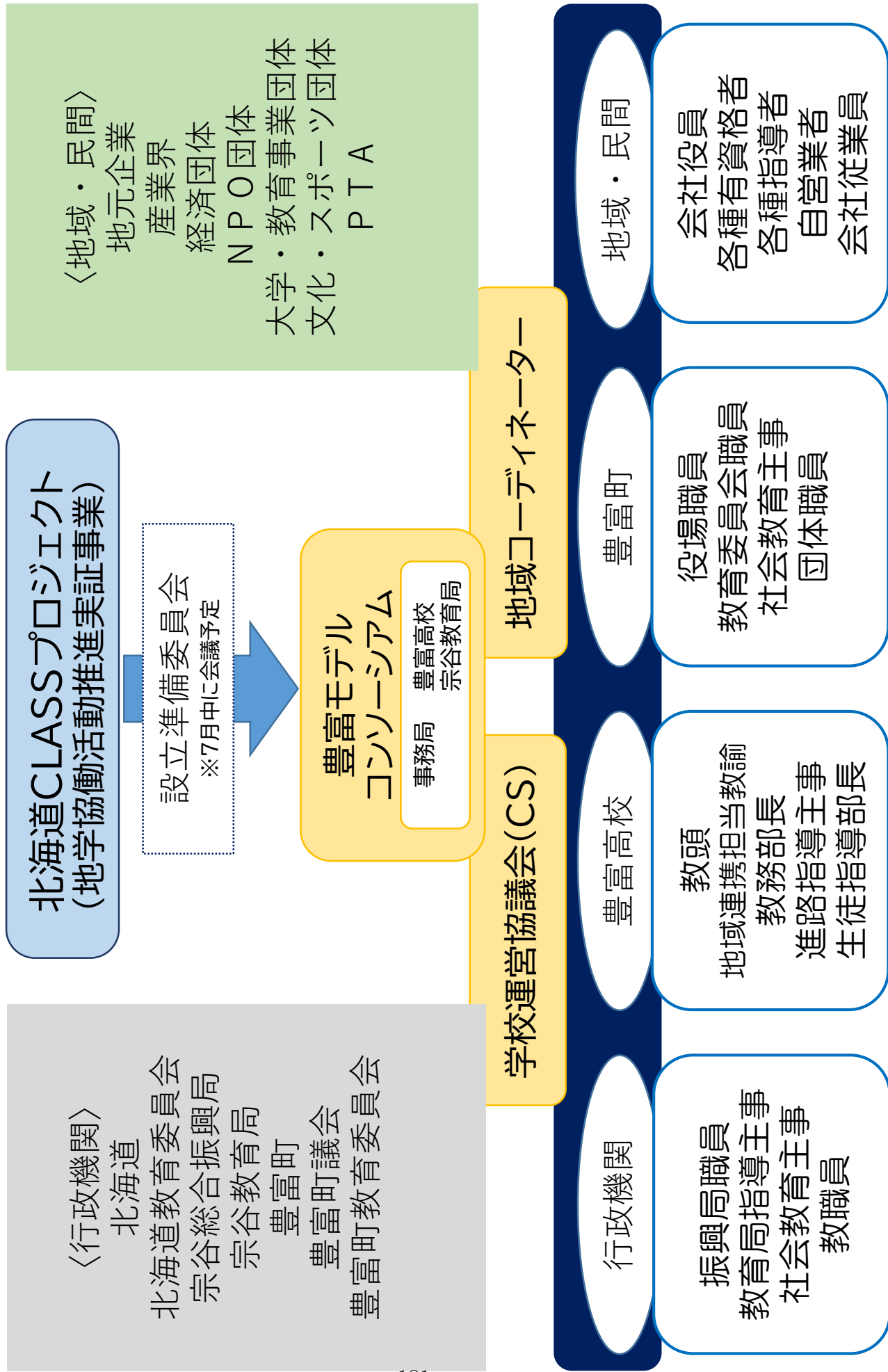
- 地域探究学習を通して、生徒自らが地域課題を見出し、課題解決のための検討をすることで、地域への愛着が深まる。
- 学校と地域で課題を共有し、解決に向け協働して取り組むことで、地域の新たな価値の創造へつながる。

豊富な天然資源、人的資源やサロベツの大地の恵みを活用



地域貢献型探求への飽くなきフロンティア・スピリットに挑戦

【宗谷管内】北海道CLASSプロジェクト 豊富モデル コンソーシアム



資料 豊2

令和3年度 北海道CLASSプロジェクト実施計画書（1年次） 《第2次》

学校名	北海道豊富高等学校
作成日	令和3年9月25日

1 3年間の目標

<p>・豊富高校が地域住民の学びや交流を促す「まちづくりの拠点」となり、豊富町への愛着、誇りをもった生徒と地域住民が、新たな価値の創造へ向け、協働して取り組む。</p>
--

2 年次ごとの目標と取組計画

月	取組
1年次 (R3)	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の連携・協働体制の構築 ・地域資源、地域住民の期待やニーズの把握 ・地域探究学習の内容を整理、カリキュラムの再構成 <p>(主な取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンソーシアムの構築、会議の開催 ・町議会、行政機関等へのアンケート調査 ・地域探究学習に関する研修、視察 ・研究(活動)報告会の実施 <p>(検証の項目) ※定量及び定性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート(選択式・記述式)による地域に対する意識及び行動の変化
2年次 (R4) 【予定】	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域探究課題の共有 ・地域学校協働活動への参画 <p>(主な取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民とのワークショップ ・地域貢献活動、フィールドワークの実施 <p>(検証の項目) ※定量及び定性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート(選択式・記述式)による地域に対する意識及び行動の変化
3年次 (R5) 【予定】	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題解決に向けた事業の企画、実行 ・検証結果、活動報告書の作成、発信 <p>(主な取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との協同イベント開催 ・プロジェクト成果報告会の実施 <p>(検証の項目) ※定量及び定性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート(選択式・記述式)による地域に対する意識及び行動の変化

資料 豊2

3 今年度の検証の項目と方法

検証の項目	検証の方法
コンソーシアムの充実	アンケート調査による意識の変化
地域探究学習を通じた行動変容	アンケート調査による行動の変化
地域課題に対する意識向上と共有	アンケート調査による意識の変化

4 今年度（令和3年度）の計画

月	取組
7	CLASS プロジェクト推進委員会
8	第1回コンソーシアム会議 ※10月に延期
9	町議会の傍聴、質問 ※10月に延期
10	コンソーシアム会議 高校生議会
11	町議会、行政機関へのアンケート調査 研修会（学校視察、講演会）
12	探究活動報告会 コンソーシアム会議
1	
2	コンソーシアム会議
3	地域探究学習カリキュラム編成、計画

5 その他特記すべき事項

--

資料 豊3

令和3年度 北海道CLASSプロジェクト実施報告書（1年次）

学校名	北海道豊富高等学校
作成日	令和4年3月18日

1 今年度の検証について

①	検証の項目	コンソーシアムの充実
	検証の方法	アンケート調査等による意識の変化
	検証結果	○コンソーシアム会議への出席率 第1回：100% 第2回：80% ○会議では全構成員が意見・感想等を述べるなど積極的に関わった。 ※第3回目のコンソーシアム会議を2月に予定していたが、蔓延防止等重点措置期間中のため開催を4月に延期することとし、その際にアンケート及び意見等を聞き取り検証する。

②	検証の項目	地域探究学習を通じた行動変容
	検証の方法	アンケート調査等による行動の変化
	検証結果	○学習成果発表、意見交流会では生徒が堂々とした態度で発表、意見を述べていた。 ○生徒から「地域（豊富町）の魅力を SNS 等を使って発信できないか」など活動を発展させる具体的方策や意見が多く発表された。

③	検証の項目	地域課題に対する意識向上と共有
	検証の方法	アンケート調査による意識の変化
	検証結果	○地域住民（構成員等）が「高校生と対話することで若者目線での考えに触れることができ新鮮だった。」など、地域課題に対する意識の変化が見られた。（会議での発言から） ※第3回目のコンソーシアム会議を2月に予定していたが、蔓延防止等重点措置期間中のため開催を4月に延期することとし、その際にアンケート及び意見等を聞き取り検証する。

2 今年度（令和3年度）の取組

月	コンソーシアム会議・関係者打合せ等	主な学習活動
4		○総合的な探究の時間 1 学年：探究スキル 2 学年：進路探究、インターンシップ 3 学年：地域探究、高校生議会 ○地域貢献活動（6月） ○学習成果発表会（12月） ○地域と学校の意見交流会（12月）
5		
6	関係者打合せ（豊富町教育委員会）	
7	CLASS プロジェクト推進委員会	
8	コンソーシアム構成員の選定、委嘱 みんなの教育委員会 事例発表	
9	関係者打合せ（豊富高校）	
10	第1回コンソーシアム会議	

資料 豊3

11	教職員研修（学校視察）	
12	第2回コンソーシアム会議	
1		
2	第3回コンソーシアム会議※延期	
3	関係者打合せ（豊富町教育委員会）	

3 組織化に関する検証【推進校のみ】

(1) コーディネーター選出の方針【教育局記入】

※連携校のため記載不要

(2) コーディネーター選出の方法【教育局記入】

※連携校のため記載不要

(3) コーディネーターとの連携

(4) コンソーシアム設置に関わっての方針

(5) コンソーシアム設置に関わっての方法

(6) コンソーシアム会議における議題

4 組織化以外の成果等

- ・地域住民を交えた「地域探究学習成果発表会」の開催
- ・高校生と地域住民での意見交換会の開催
- ・地域の教育（人的、環境）資源の情報収集及びネットワーク構築

資料 豊4

令和4年度 北海道CLASSプロジェクト実施計画書（2年次）

学校名	北海道豊富高等学校
作成日	令和4年6月3日

1 今年度の目標と取組計画

月	取組
2年次 (R4) 【予定】	(目標) ・地学協働活動の推進 ・地学協働活動の実施体制の構築 (主な取組) ・地域と連携・協働した探究活動 ・地域貢献活動、フィールドワークの実施 ・地域コーディネーターとの連携した計画の推進

2 今年度の検証の項目と方法

検証の項目	検証の方法
コンソーシアムの構築、会議の開催	会議の回数及び委員の出席率
地域探究学習に関する研修、視察	研修会・視察の回数
成果報告会の実施	発表会への参加人数

3 今年度（令和4年度）の取組

月	コンソーシアム会議・関係者打合せ等	主な学習活動
4	第1回コンソーシアム会議	・海岸清掃ボランティア活動に係る地域環境講話の実施 ・豊富町と協働した商品開発・発展探究 ・豊富町商工会議所と連携した就業体験学習進路探究 ・豊富町と包括連携協定を結んだ北海学園大学との連携と大学生との意見交流 ・豊富町と連携した地域探究に係るフィールドワークの実施 ・今年度の取組の反省と次年度に向けた計画
5		
6	地域環境講話・全校ボランティア	
7	就業体験学習	
8	北海学園大学との連携・大学生との交流	
9	第2回コンソーシアム会議	
10	地域探究に係るフィールドワーク	
11		
12	探究成果発表会・第3回コンソーシアム会議	
1		
2	第4回コンソーシアム会議	
3		

4 小・中学校との連携を強める取組

<ul style="list-style-type: none"> ・12月に実施する探究成果発表会・意見交流会に豊富町長、教育長、学校運営協議委員、コンソーシアム構成員に加えて、小学生・中学生の参加・連携を計画している。 ・小学校、中学校の学校運営協議会で地域コーディネーターを務める町教委の教育次長から高校での取組を説明してもらう。

資料 豊5

令和4年度 北海道CLASSプロジェクト実施成果報告書（2年次）

学校名	北海道豊富高等学校
作成日	令和5年3月6日

1 今年度の検証について

①	検証の項目	コンソーシアムの構築、会議の開催
	検証の方法	会議の回数及び委員の出席率
	検証結果	3回のコンソーシアム会議を開催し、委員の出席率は毎回約70%～80%であった。

②	検証の項目	地域探究学習に関する研修、視察
	検証の方法	研修会・視察の回数
	検証結果	1月に本校教員2名が地域探究に係る先進校2校の視察を行い、研修内容を校内に還元した。

③	検証の項目	成果報告会の実施
	検証の方法	発表会への参加人数
	検証結果	12月16日（金）に全学年合同の探究成果発表会を実施。町長、町議会議員、宗谷教育局、学校運営協議会委員、コンソーシアム委員、町内小中学校、保護者が参加した。

2 当事者の声について

生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・町が企画したイベントに高校生として参加することができ、やりがいを感じ、達成感を得ることができた。 ・大学生との交流をとおして新たな考えが広がったり、分からないことへの疑問も深く考えたりできて良かった。
教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、外部機関との連携を図ることにつながりを構築できた。取組内容を検証し、つながりを生かしながら次年度の計画を立てていきたい。 ・町の支援に高校の取組が追いついていない部分も見られたため、今後取組を進めるにあたり、より連携を図っていく必要がある。
地域の方	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生は地域と協働した探究活動によく取り組んでいる。取組内容を知らない町民が多いので、今後は町のイベントへの参加などをとおして、町民に高校生の取組を知ってもらう機会を設定していく必要がある。

資料 豊5

3 今年度（令和4年度）の取組について

月	コンソーシアム会議・関係者打合せ等	主な学習活動
4	第1回コンソーシアム会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸清掃ボランティア活動に係る地域環境講話の実施 ・ 豊富町と協働した商品開発・発展探究 ・ 豊富町商工会と連携した就業体験学習 ・ 豊富町と包括連携協定を結んだ北海学園大学との連携と大学生との意見交流 ・ 豊富町商工観光課、企業と連携した地域探究に係る風力発電施設の見学 ・ 全学年合同の探究成果発表会、参加者と生徒との意見交流 ・ 地域探究に係る道内先進校2校の視察訪問 ・ 1学年における探究活動の成果発表・交流
5		
6	地域環境講話・全校ボランティア	
7	就業体験学習	
8	北海学園大学との連携・大学生との交流	
9	第2回コンソーシアム会議	
10	地域探究に係るフィールドワーク	
11		
12	探究成果発表会・意見交換会 第3回コンソーシアム会議	
1	先進校視察訪問	
2		
3	推進校（上富良野高校）との探究活動の成果発表交流	

4 小・中学校との連携を強める取組について

・ 12月16日（金）の探究成果発表会において、町内の小中学校へライブ配信を行い、高校生の探究活動の様子を広く公開した。

・ 町の地学協働活動本部と連携し、町の小学校へ高校生が学習ボランティアとして小学生へ学習補助として参加した。

5 学校独自の取組・工夫・実践について

(1) 組織化に関する取組・工夫・実践（校内体制含む）

・ 校内に探究プロジェクト委員会を設置し、実施計画や取組内容の策定を行い、学年との連携を図っている。

(2) 地域コーディネーターとの連携に関する取組・工夫・実践

・ 地域コーディネーターに実施計画の作成にあたり、指導・助言をいただき、地学協働活動に係る地域人材の情報提供をいただいた。

(3) その他

資料 豊6

令和5年度 北海道CLASSプロジェクト実施計画書（3年次）

学校名	北海道豊富高等学校
作成日	令和5年4月14日

1 今年度の目標と取組計画

月	取組
3年次 (R5)	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地学協働活動の推進 ・地学協働活動の実施体制の構築 <p>(主な取組予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携・協働した探究活動 ・地域貢献活動、フィールドワークの実施 ・地域コーディネーターとの連携した計画の推進 ・地域のイベントへ高校生の参画

2 今年度の検証の項目と方法

検証の項目	検証の方法
Collaboration	地域資源をした探究活動の実施
Literacy	探究活動と連動した教科横断的な学習の充実
Adult	地域探究活動への地域人材の参画
Student	地域のイベントへの高校生の参加・協力
System	地域コーディネーターを中心とした自走可能な組織の構築

3 今年度（令和5年度）の取組

月	コンソーシアム会議・関係者打合せ等	主な学習活動
4		<ul style="list-style-type: none"> ・海岸清掃ボランティア活動に係る地域環境講話の実施 ・豊富町と協働した商品開発・発展探究 ・豊富町商工会議所、宗谷振興局と連携した就業体験学習・進路探究 ・豊富町と包括連携協定を結んだ北海学園大学との連携と大学生との意見交流 ・豊富町と連携した地域探究に係るフィールドワークの実施 ・今年度の取組の反省と次年度に向けた計画
5	第1回コンソーシアム会議	
6	地域環境講話・全校ボランティア	
7	就業体験学習	
8	北海学園大学との連携・大学生との交流	
9	第2回コンソーシアム会議	
10	地域探究に係るフィールドワーク	
11		
12	探究成果発表会・第3回コンソーシアム会議	
1		
2		
3		

資料 豊6

4 自走可能な体制整備に向けた方策

- ・コンソーシアム組織と学校運営協議会を統合し、自走可能な組織体制づくりを推進する。
- ・地域コーディネーターを中心とした豊富町との連携・協働体制づくり

5 圏域の研究指定校等、他校との連携・交流について

- ・道北地区推進校の上富良野高校とのオンラインによる探究活動交流会の実施

6 学校独自の取組・工夫

7 その他特記すべき事項

北海道CLASSプロジェクト (地学協働活動推進実証事業)

北海道豊富高等学校

日 青 木

令和3年度(1年目)

- 令和3年 7月 校内CLASSプロジェクト命課
第1回CLASSプロジェクト推進委員会実施
- 8月 CLASSプロジェクト打合せ(コンソーシアム会議メンバーについて)
- 10月 第1回CLASS.Pコンソーシアム会議
- 11月 学校視察訪問(上富良野、美瑛、東川高校)
- 12月 校内探究成果発表会・第2回CLASS.Pコンソーシアム会議

日 青 木

趣旨

地域と学校との連携・協働体制を構築し、活動を通じて「まち・ひと・しごと」と「学び」とのつながりがづくりに貢献できるようにする。

豊富モデル

「天地人の恩恵による地域探究」

日 青 木

令和3年度(1年目)

- 1年生：基礎探究成果報告
- 2年生：インターンシップ成果報告
- 3年生：地域探究成果報告

5



令和4年度(2年目)～令和5年度(3年目)

1年生：基礎探究・地域資源探究

2年生：インターンシップ探究

3年生：地域発展探究

日 青 木

1年生：基礎探究・地域資源探究

- ① 稚咲内海岸清掃の事前学習(～R5)
NPO法人サロベツ・エコ・ネットワークによる事前指導
- ② 基礎探究活動(R4ミニ探究発表・R5グループ課題探究)
- ③ 北海学園大学と合同でSDGs講話&グループワーク(～5)

④ 風力発電施設見学R4

⑤ 地理フィールドワークR4



2年生：インターンシップ探究

事前研修 稚内市公共職業安定所職員をお招きしています。



探究設定が課題：地域経済とかに着目等…

日 青 木

3年生：地域発展探究

R3年度は基礎探究講話から…

R4年度は地域資源(商品開発)・発展(まちづくり計画等)探求

- ① 町役場総務課地域振興係の方と、エコバッグデザイン商品開発R4
令和5年、この取組が商品化しました！(ふるさと納税返礼品)
- ② 地域資源(サロベツ原野、温泉等) 探索R4
資源物を商品化しようとはしましたが、最終的には形になりませんでした。

③ 令和5年度は個別探求(対話型論証モデルを活用)に挑戦。

夏休みに課題としてフィールドワークを課しています。現在まとめ中！

日 青 木